

## 6 運転する前に

### (1)各部の点検

①各締付部（ボルト、ナット、ピン、ホース接続部等）のゆるみを点検します。

**【注意】**特に吸水ホースの接続部より空気を吸い込むと、吸水しなかったり、ポンプが異常音を発生したりするので注意して下さい。

②配管ホースにつまりや破損及びよじれ等がないか点検します。

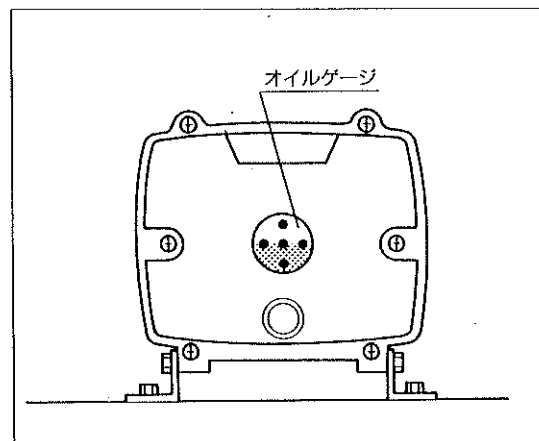
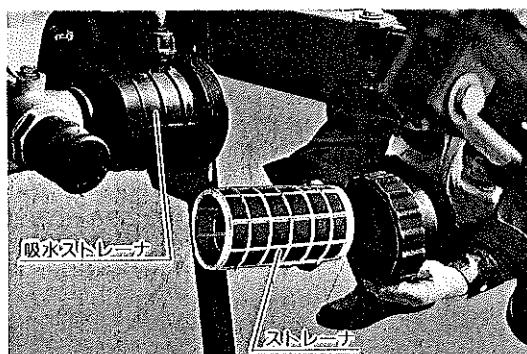
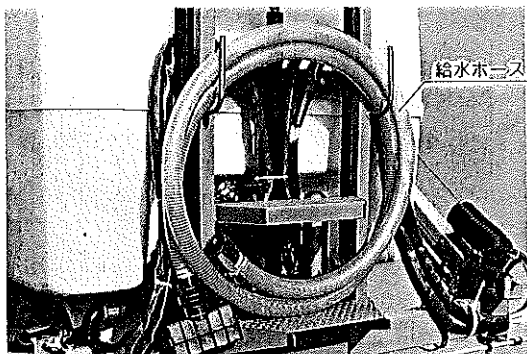
③給水ホース、ストレーナ、吸水ストレーナ内のストレーナ、分水器内のストレーナ、薬剤タンク水入口の水コシ網を点検清掃します。



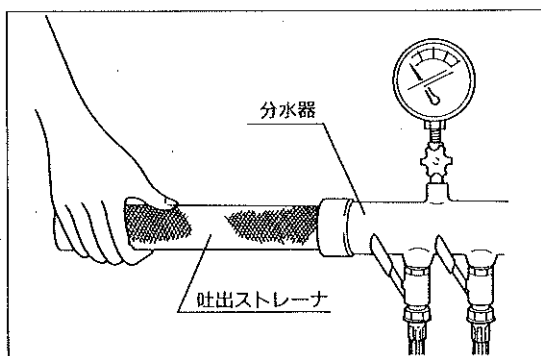
### (2)各部への給油

#### ①動力噴霧機

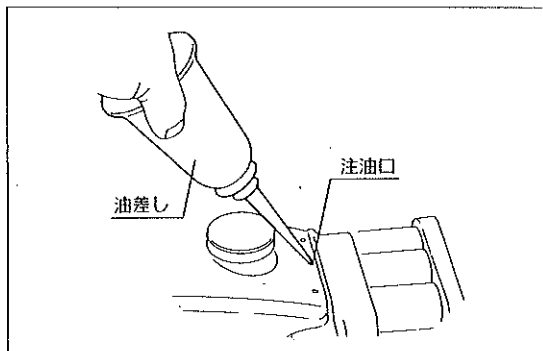
(1)クランクケースに、オイルゲージの赤点までオイルが入っているか、また、汚れていないか確かめます。



使用オイル モビール油 SAE#40 容量2.5ℓ  
標準オイル交換時間：初回 ……………50時間目  
2回目以降……………100時間毎



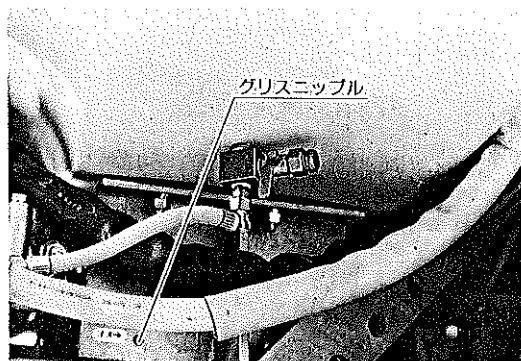
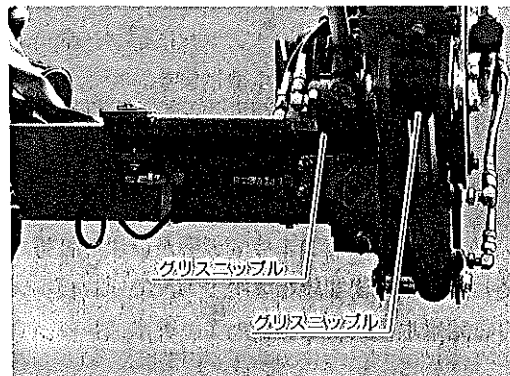
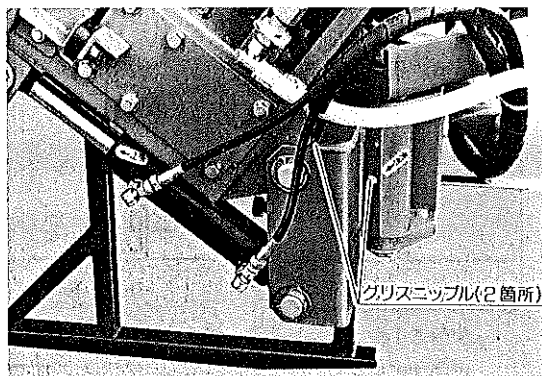
(ロ) クランクケースのシリンダ取付け部にある3個の注油口に油差してモビール油(2~3時間毎)を数滴注油します。



**【注意】** 運転前には毎回必ず行って下さい。

② グリスニップル個所のユニバーサルジョイント(両側2ヶ所)、ブーム各リンク部(右、左ブーム4ヶ所) 開閉、上下シリンダ(4ヶ所) 薬剤タンク攪拌機用等へグリスアップします。

グリス 20時間毎 適量



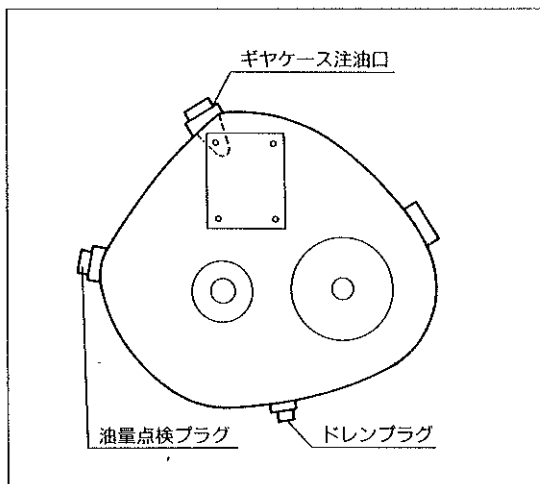
③油圧用オイルの油量を点検し、不足している時は補充します。



使用オイル タービン油#90 (ISO#32) 容量 4 ℓ  
 標準オイル交換時間：初回 ……………50時間目  
 2回目以降……………100時間毎

④ギヤケース外部へ油がモれていないか確認します。

オイル交換は初回50時間目、2回目以降は100時間毎に行ってください。



使用オイル ギヤオイル SAE90 容量1.2ℓ

⑤その他摺動部への注油をします。

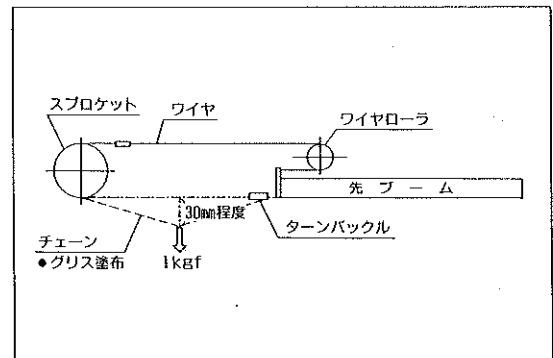
**【注意】** ●上記の油類の種類、交換時期は厳守して下さい。機械の寿命が短くなる可能性があります。  
 ●油量はゲージで確実にチェックし、範囲のある場合は上のレベルに合わせるようにして下さい。油量は多過ぎても少な過ぎても機械に悪影響があります。

③ブーム調整及び給油

ブーム伸縮用ワイヤが伸びた場合チェーンの張りを調整して下さい。

ブームをいっぱい伸ばした状態でターンバックルを回し調整します。

(たるんだ状態で使用するとワイヤがはずれる危険があります。)



(この状態は、ブームを伸ばしていきストッパに当たった時、ブーム本体にチェーンが接触しない程度です。)

※ブーム伸縮用チェーン、ワイヤには年1回錆防止のため、全面にグリスを塗布して下さい。